

大崎地区

(新潟県三条市)

- 計画期間 平成27年度～令和元年度
- 面積 81.0ha
- 交付対象事業費 238.9百万円
- 市人口 94,146人

ポイント

やすらぎと暮らしやすさの感じられる地域の創造

地区概要

高低差の少ない平坦な地形であり、宅地化も進む中、多発する豪雨に対応するための内水対策事業や避難施設の整備を進める。また、住工混在の市街地における景観の改善を図る。

目標

- ①浸水被害の改善に向けた定住の場づくり
- ②周辺環境と調和した活力ある産業拠点づくり

指標

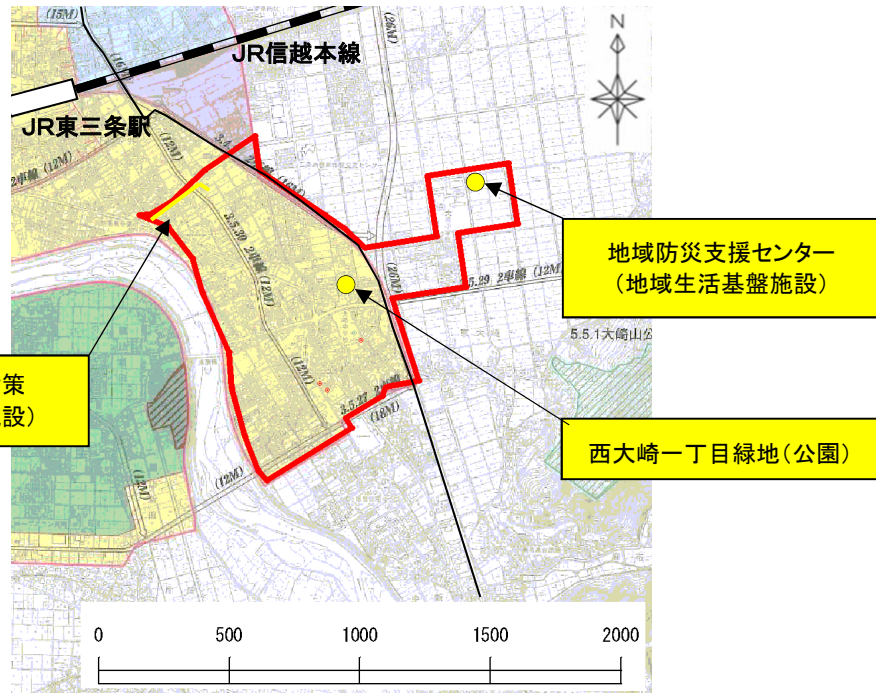
雨水排水対策等による浸水被害の軽減、市街地等の浸水被害解消の市民満足度の向上を指標とした。

計画区域における浸水予想区域面積	23.7 ha (H26)	→	0 ha (R1)
水害対策の強化(市民満足度調査)	2.868 ポイント (H26)	→	2.968 ポイント (R1)

事業内容

基幹事業 (238.9 百万円)

→ 西大崎一丁目緑地整備 (193 m²)、内水対策 (排水路整備 535m)、地域防災支援センター整備 (331 m²)



地区の現況と課題

現況

本地区は、市のほぼ中心部に位置し、高低差の少ない平坦な地形が広がっている。また区域の西側には五十嵐川が流下し、用途地域の緑辺部において宅地化が進み、市街地が拡大している状況である。

課題

近年多発する豪雨に対応するため、内水対策事業や災害時の避難所としての施設整備が必要である。

また、工場と住宅が混在する市街地における景観の改善などが必要である。



道路冠水状況（西大崎地内）

計画策定プロセス

これまでの計画と事業実施

大崎地区は、近年頻発する豪雨により浸水被害が絶えない事から浸水被害の軽減に向けて、平成26年度まで三条地区都市再生整備計画で事業を実施してきたが、今後は前計画の事業効果を検証しながら更なる排水機能の強化、及び浸水対策やその他災害時の避難場所として、地域防災支援センターの整備を図っていくものである。



地域防災支援センター（整備後）